



議会活動フォト

- ①建築文化拠点施設  
寺町に、伝統ある金沢の建築文化を  
発信する施設が誕生します。
- ②防災訓練  
いざという時の備えは万全にしてお  
かなければなりません。
- ③北方領土視察  
日本人として命ある限り、北方領土  
の返還をロシアに要求していきます。
- ④意見交換  
高校同期の宮本参議院議員や恩師の  
先生方と教育談義をさせていただきました。

《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月	野町に生まれる	平成 9 年 4 月	今村証券株式会社入社
52 年 3 月	藤蔭幼稚園卒	23 年 1 月	// 退社
58 年 3 月	森山町小学校卒 (金沢東警察署で少年剣道)	23 年 4 月	金沢市議会議員選挙に初当選
61 年 3 月	星稜中学校卒 (剣道部主将)	27 年 4 月	金沢市議選挙で 2 期目の当選
平成 元 年 3 月	金沢泉丘高校卒 (剣道部主将)	野町校下青年会・野町弥生消防分団所属 金沢市泉本町に在住	
9 年 3 月	早稲田大学卒	資格	証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
		国家試験合格	行政書士・宅地建物取引士
		家族	妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ)、次男

金沢市議会議員

喜 多 浩 一 通 信  
き た こう い ち

Vol.19 発行・喜多浩一



《金沢市議会議員 2 期目の任期も 1 年半となり》

平成 27 年 4 月に金沢市議会議員 2 期目の議席をいただいてから、早 2 年半が過ぎました。国の方でも衆議院が解散し、今後の日本を誰に、どの党に担わせるかの選択が迫られたのは記憶に新しい所です。

最近の日本を取り巻く国際情勢は混沌としてきており、油断の許されない状況と言えます。北朝鮮のミサイル発射による威嚇は断じて許される行為ではなく、一致団結して、この暴挙を止めさせなければなりません。また、万が一の非常事態も考慮しなければなりません。米国がどんな状況になっても守ってくれるとは限らない中、我々は自分の国は自分で守るのだという準備と気概が今こそ試されていると言えます。

金沢市も、「世界の交流拠点都市」を目指して数々の政策を立案実行し、存在感のある都市になりつつあります。しかし、これからは人口減少が本格化してくることが予想されていますし、中心部や郊外部を問わず高齢化が進んでおり、各町会などのコミュニティ自体が成り立たなくなっています。

山野市長も残りの任期が 1 年を切り、総仕上げの時期に入ってきました。我々市議会も市民の身近な生活の問題を少しでも解決できるよう、市長と一体となって努力していかなければなりません。寒い季節に入りましたが、これまで同様、皆さんの所へと走り回ります。これからも変わらぬ叱咤激励を、よろしくお願致します。

この「喜多浩一通信」も今号で 19 回目の発行となりました。バックナンバーにつきましては下記アドレスにてご覧になれますので、アクセスしていただければ幸いです。

(喜多浩一)

<http://www.kita-koichi.com/archive2/>

## 平成29年9月定例会での主な質問と答弁の要約

## 喜多浩一 関連記事

### ◎空き家の解消について

〈喜多浩一〉

町家の保存・活用と並行して、空き家の解消は喫緊の課題です。国の法改正により、各地方自治体に空き家に関する専門の部署を設置したり、使われていない空き家や空き地の利用を促す対策案を作ることが求められていますが、本市の対応についてお答え願います。

〈山野市長〉

空き家対策特別措置法を踏まえた独自の空き家条例を制定し、相談窓口の一元化や空き家バンクを活用した空き家の斡旋に取り組んでいく。相続放棄や未登記によって、所有者が特定できないケースが多く、今後も市民への啓発を積極的に行っていく。

### ◎建築文化拠点施設について

〈喜多浩一〉

寺町に建設中の建築文化拠点施設についてですが、この地を提供して頂いた谷口吉生先生の期待に応えるためにも、どのようにして魅力的な施設にしていくのか。市長の想いをお答え願います。

〈山野市長〉

日本を代表する和風建築「游心亭」の一部を復元することになっている。谷口先生の建築に対する思い、建築を通じた金沢に対する思いを市民の皆さんに感じて頂けるようにしていく。建築文化の発信ということも、文化都市金沢の新たな付加価値となるようにしていきたい。

### ◎移住政策について

〈喜多浩一〉

ライフスタイルや働き方の多様化により、従来の都市志向から地方志向の意識が広がっています。本市においても、東京での「移住交流情報ガーデン」において、移住情報を提供するなど本市への移住促進を図っていますが、今後の新しい試みなどをお答え願います。

〈山野市長〉

金沢の魅力を発信していくことが何よりも大切と考えている。移住プロモーション動画「金沢美住」を製作したところであり、活用していく。また、石川中央都市圏4市2町（金沢市、白山市、野々市市、かほく市、内灘町、津幡町）と連携をし、ホームページを作成する等、積極的に情報発信を行っていく。



記念写真に納まる台南市協進小の一行  
＝金沢市役所

台南市の小学生  
金沢市役所訪問  
「いつか野球で交流を」  
台湾・台南市の協進小  
の野球部員ら46人が11日、

金沢市役所を訪れ、山野之義市長と懇談した。一行は、日本統治時代の台南市にダムを建造した八田與一技師（金沢出身）の縁で両市が交流を続けていることから、初めて金沢を訪れた。山野市長が歓迎の言葉を述べ、洪榮達校長は「いつか野球を通じた子どもたちの交流をしたい」とあいさつした。6年生の祁昀歡君は「歴史的街並みや、近江町市場での食事が心に残った」と感想を述べた。喜多浩一市議らが同行した。

▲ 北國新聞 2017年9月12日付 朝刊

# 金沢の建築文化 発信を

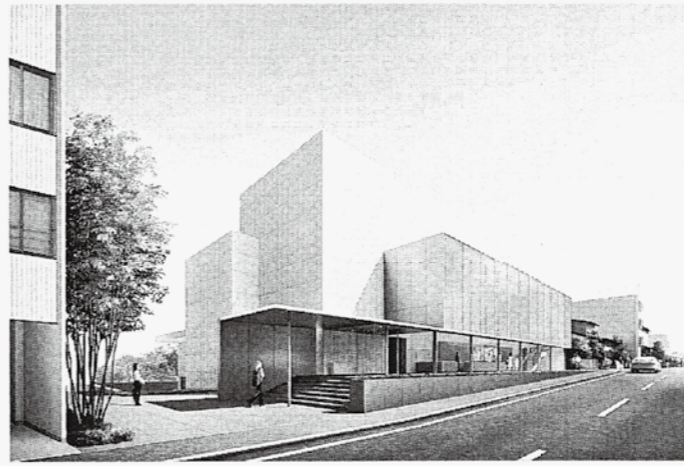
## 寺町で拠点施設起工式

### 谷口吉生氏「設計に幼少体験」

金沢市が建築家の谷口吉生氏の生家跡地に計画する建築文化拠点施設の起工式は28日、同市寺町5丁目の建設地で開かれ、関係者約50人が工事の安全を祈った。建設費は約18億円。2019年3月の完成、同年夏の開館を目指す。吉郎氏の長男で、設計を担った建築家の谷口吉生氏は「（着工を）父も喜んでくれるはず。施設を拠点にして金沢の重層的な建築文化を国内外に伝えてほしい」と語り、藩政期以降の多様な建物が残る金沢の魅力発信に期待を寄せた。

### 父吉郎氏の生家跡 19年夏開館

山野之義市長が「市民や「いまちをつくる」ことをあら来街者が美しい建築が美しいため考えることができる



建築文化拠点施設の完成予想パース



模型を前に山野市長（中央）に説明する谷口氏（手前右）＝金沢市寺町5丁目

「設計に幼少体験を今回の設計に採り入れ、斜面に遊歩道を設けたことを紹介した。東生氏に説明した。吉郎氏は幼少期に疎開し、吉郎氏の生家で暮らした思い出に触れ、「この場所に住んでいたころ、崖を下りて岸川に遊びに行った」と語り、自身の体験を今回の設計に採り入れ、斜面に遊歩道を設けたことを紹介した。

式に先立ち、安全祈願祭が営まれた。会場には施設の模型が展示された。建築文化拠点施設の敷地は2034平方メートルで、吉生氏が金沢市に寄付した。建物は地上2階、地下1階建ての現代建築で、延べ床面積は1466平方メートルとなる。岸川を一望する2階に、吉郎氏の代表作、迎賓館赤坂離宮（東京）の和風別館「游心亭」の和室を復元するほか、地下1階に企画展示室を設け、吉郎氏の遺品を展示する。寺町通りに面する南側は、建物を通りから後退させて歩行空間を広げに確保する。崖に面する敷地北側は、上部には水面に映り込む景色を楽しむ池のある庭を設け、下部には崖地を利用した植栽帯を階段状に整備し、寺町台の斜面緑地との連続性を持たせる。西側には市民が岸川方向に斜面を自由に通り抜けられる遊歩道を設け、寺町台重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）と岸川河畔周辺の回遊性を高める。

### 企業誘致はリスクある

喜多浩一氏（自民） 誘致企業には撤退のリスクがある。山野市長 立地助成金の支援を行った企業には、進出後の経営状況や従業員の増減の報告などを求め、日ごろから経営実態の把握に努めている。



資系ホテルは大丈夫か。 山野市長 オリックストとの契約では、開業から10年間は同一のホテルブランド・運営主体とすることなどを義務付けた。違反があった場合は違約金と損害賠償の請求ができるようになっている。

喜多氏 市の移住政策の成果を問う。 木谷都市整備局長 市の支援制度を利用し、2014年度に47人、15年度に41人、16年度に86人が移住した。

▲ 北國新聞 2017年7月29日付 朝刊

▲ 北國新聞 2017年9月1日付 朝刊